

高校入試社会記述式問題3 解答

1 大分	<p>2015年に公職選挙法が改正された。有権者の資格は、それ以前の選挙権に比べて、どのように変わったか。「選挙権は、」の書き出しに続けて説明しなさい。ただし「満20歳」という語句を用いること。</p> <p>(選挙権は、)満20歳以上から、満18歳以上になった。</p>
2 大分	<p>1928年と1920年の衆議院議員選挙の有権者割合を見ると、1928年には20%であったのに、1920年には約6%にすぎなかった。1920年の割合が低い理由を説明しなさい。</p> <p>納税額による制限があったから。</p>
3 宮城	<p>北陸では、伝統的な工芸品を生産する地場産業が、農家の副業から発達した。北陸で、これらの地場産業が発達した理由を、自然条件を含めた地域の特徴から、簡潔に述べなさい。</p> <p>冬は積雪が多いため農作業が難しく、地域の原材料を活用する技術が受けつがれたから。</p>
4 大分	<p>第二次世界大戦終戦時である1945年の日本において、全国の農地に占める借地割合は約45%であった。それが、5年後の1950年には約10%になった。このような変化が起きた理由と農家の形態の変化について20字以内で書きなさい。</p> <p>農地改革により、自作農が増加した。</p>
5 長野	<p>北海道では、豆、てんさい、小麦、じゃがいもなどの栽培を毎年異なった畑で行う輪作が行われている。この輪作の目的を書きなさい。</p> <p>作物を育てる土地の力を維持するため。</p>
6 長野	<p>クラスの話し合いなどでは、十分に議論したあと多数決により集団の意思決定をすることがある。このとき、多数決で結論を出すにあたって配慮すべきことについて、「少数」という語を使って、簡潔に書きなさい。</p> <p>少数の意見も尊重すること。</p>
7 大分	<p>20世紀前半の、世界恐慌後のブロック経済は、第二次世界大戦の原因となる国家間の対立を生み出したといわれる。その理由を、「国際協調」「経済回復」という2つの語句を用いて説明しなさい。</p> <p>国際協調よりも、自国の経済回復を優先させたから。</p>
8 高知	<p>江戸時代に定められた「参勤交代」の内容を書きなさい。</p> <p>大名が1年おきに領地と江戸を往復すること。</p>
9 長野	<p>わが国で1925年に成立した法律にかかわって「婦選なくして真の普選なし」というスローガンが唱えられた。このスローガンは何を求めたものか。「女性」という語を使って、簡潔に書きなさい。</p> <p>女性の参政権の獲得</p>
10 大分	<p>次の文のカッコに当てはまる2つの役割について10字以内で書きなさい。『奈良時代などの大宰府は、大宝律令のもとで設けられた機関で、九州地方の支配を強める役割があった。それ以外にも、東アジアの国々に対する()という役割があった。』</p> <p>外交や防衛を行う</p>